

第2回課題研究指導開催

—2年SS発展探究—

◆期 日 令和2年11月13日(金)

◆場 所 本校各教室・理科実験室・ゼミ室・図書館

本年度2回目となるSS発展探究課題研究指導が行われた。今回も前回同様に富山大学から13名の教官を招き、理数科学科・人文社会科学科あわせて81名が数学、物理、化学、生物、英語、国語、地歴公民の7教科のゼミに分かれ、6月から今までの研究成果を報告し、助言をいただいた。7つのゼミの23の研究班のそれぞれで、今までの調査や実験の結果を踏まえた考察や、探究活動の途上で新たに発生した問題点、これからの研究方針などについて、普段以上に白熱した議論が展開された。

物理ゼミできれいな割りばしの割れ方に関する研究をしている班では、今まで割りばしのきれいな割れ方について様々なパラメータを用いて実験を行っており、その中で仮説と異なる部分や生徒だけでは考慮しきれいでなかった条件などに多くの問題を抱えていたが、今回の指導では、割りばしの割れ方が割ったときの力の大きさによるものではなく、力を加えた



時の衝撃はどうか、または割りばしの含水率による影響として割りばしの割れるまでのしなり具合はどうかかなど、今まで思いつくことができなかつた様々な新しい観点から実験を提案していただき、これからの実験の方針を決めることができた。

12月20日に行われる富山高校・高岡高校との三校合同課題研究発表会を前に、研究をまとめて一定の結論を出し、成果発表で使うポスターを作製するためにも、納得のいく結果を出すことが求められるようになってきた時期ではあるが、今回の課題研究指導を通して改善できた点や新たに出てきた課題について、しっかりと整理してより良い結論を出せるようにこれからも研究に励んでいきたいと思う。

